

令和4年度学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 調理製菓総合学科

令和4年度学校関係者評価委員

■保護者

内藤さゆり様（調理製菓総合学科 内藤恋奈さん保護者）

■企業関係者

阿部義道様（株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ
熱海後楽園ホテル 総務 副支配人）

■他校関係者

小杉彰宏様（中央調理製菓専門学校静岡校 製菓衛生師科 学科長）

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】

	平均
1 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4 組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

【現状の問題点】

設問1の評価がかなり下がった。やり方は変更していないと思われるがどこに問題があったかの検証が必要と思われる。

【改善のための方策】

今年度から勤務に就いた職員が2名おり、新人に理念・目標がしっかりと浸透していなかったと思われる。教務室内にも理念・目標を明記したものを掲げて明確にし、常に見てとれるようにする。学生には授業、行事等に於いても実施する前に必ず目標目的を伝える。

【関係者評価】

特記事項なし。

2. 学校運営

【自己評価結果】

	平均
5 目標を達成するための事業計画が策定されているか	B
6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8 就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9 組織内の連携は適切に図られているか。	A
10 上司の指示は適切にされているか	A

11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に前年より下がっているが特に設問5が下がっている。よく話し合った上で事業計画を策定していく必要がある。		
【改善のための方策】		
ディプロマポリシーをより明確にするためにカリキュラムマップを作成し、職員全員が共有してそれに沿って進めて行く。学生配布レシピをデータ化し、学生自身でレシピを見やすく編集(カスタマイズ)できるようにした。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育産学連携によるインターンシップ、実技・実習等が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
資格試験への対応は学科全体でよく検討する必要がある		
【改善のための方策】		
新年度から新しい職員も入ることもあり、各職員の授業を互いに評価し反省改善を行う。資格試験の合格率を上げるためには、模試を行う際にグループで競わせるなど、学生同士で勉強し合う雰囲気づくりをする。点数が取れていない学生には土曜日でも登校させるなどの方策をとる。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
退学が多くなったので、対応策を再検討したい		
【改善のための方策】		
うつ病等メンタル面での対応としては、早期発見に努め、面談からカウンセリングへと繋げる。入学前講座で性格判断テストを行う。グループで悪い方向に行かないよう常に気を付け指導をしていく。遅刻が多い学生に退学者が多い傾向があるので、早めに保護者に協力を求める。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
防災計画、訓練に関して評価が下がっているの、来年度計画の中で見直しをしていきたい		
【改善のための方策】		
ヘルメットやさすまたの購入をしたが、実際に使う練習を行う。年回の避難訓練とは別に、科内で独自の防災マニュアルを考え実際に行動を試みる。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
必要なものについては意見を出しあって決めて行く必要がある。		

【改善のための方策】	
破損した物や、劣化した物を当たり前のように使わぬよう気を付け、機材・道具の確認を行う。職員はもちろん、学生にも道具等の取り扱いを指導する。年数が経過した機材に関しては万が一に備え予算を計上しておく。	
【関係者評価】	
特記事項なし。	

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
設問36については何か問題があるか検討する必要がある		
【改善のための方策】		
体験入学に関することは、反省会等で常に見直しをする。指定校推薦については、できる限り高校側の情報を得るように努める。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題ないと思われる		
【改善のための方策】		
物価の上昇に伴い、食材、道具や機材、光熱費などを確認する。学費説明会などで保護者にしっかりと理解してもらうが、近年は学生自身が学費管理を行っている者も増えているので、滞納しないよう指導しながら対応していく。		

【関係者評価】
特記事項なし。

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題ないと思われる		
【改善のための方策】		
個人情報に関する資料が増えており、管理用に鍵付きの棚を購入する。 科内だけでなく学園全体で連携していく。		ハラスメントの整備は
【関係者評価】		
特記事項なし。		